

2013年12月27日

震災を風化させないために  
**講演会「東北復興の現実～東日本大震災から  
3年、被災地の苦悩～」開催**

広島国際大学（学長 秋山實利）には、学生自らが企画・立案し、地域や社会と連携して取り組む事業を支援する「広島国際大学チャレンジプロジェクト」があります。

今年度は、これまでに24件が採択され、総額約300万円を助成していますが、採択プロジェクトのひとつ「広島から福島へ～学生による被災地支援～」プロジェクト（代表：住環境デザイン学科2年 清水悠矢）が、2014年1月8日（水）午後6時半から、福島県相馬市で復興支援活動をしている押田一秀氏を講師に招き、呉キャンパス2号館8階の会議室4で講演会を開きます。

### 被災地の現状をリアルに伝えたい

プロジェクトメンバーは16人。「東日本大震災の被災地で、本当に必要な支援とは何か？広島の学生に何ができるのか」をテーマに、2013年4月、9月と2回にわたって被災地へ足を運びました。その経験を通して彼らは、「震災を風化させてはならない」「東日本大震災の真実、復興の現状を広島の市民にも伝えていきたい」と考えました。

先頃、広島県がまとめた広島県地震被害想定調査結果によれば、南海トラフ巨大地震が県下に及ぼす影響は、建物全壊倒壊7万軒、死者1万人を上回るという甚大な被害が想定されています。震災からもうすぐ3年が経過しようとしている今、今回の講演会は意義深いものがあります。当日は、実際に現地で支援活動に当たっている押田氏から、被災地の現状をリアルに伝えていただきます。

聴講は無料、事前申し込みは不要です。



（福島県では、現地で実施されたワークショップや朝市のお手伝いをしました）

（次頁に続く）

**※報道各社の皆様には、事前告知の機会があれば取り上げていただき、ぜひ取材にお越し  
いただきたくよろしくお願いいたします。**

1. 開催日時：2014年1月8日（水）18:30～20:00
2. 場 所：広島国際大学 呉キャンパス 2号館8階 会議室4  
（〒737-0112 広島県呉市広古新開5-1-1）
3. 講師・内容：押田一秀氏（復興支援センターMIRAI 所長）
  - ・震災から3年、東北復興の現実
  - ・震災が生んだ問題、被災地の苦悩
  - ・今本当に必要な支援
4. 対 象：学生、一般
5. 参 加 費：無料
6. 主 催：広島国際大学 SAS（被災地学生支援）
7. そ の 他：
  - ・事前申し込み不要
  - ・入退場自由

■内容に関するお問い合わせ先

広島国際大学 呉学生課（山北）

TEL：090-7371-0306

■取材の申し込み先・本件発信部署

広島国際大学 企画課（坂井）

TEL：090-6607-1686

添付文書 なし 発信枚数：本書含め2枚